



2020年12月期 第2四半期決算短信 (IFRS) (連結)

2020年8月4日

上場会社名 株式会社クボタ

上場取引所

東

コード番号 6326 URL <https://www.kubota.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北尾 裕一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長

(氏名) 細谷 祥久

TEL 06-6648-2389

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

2020年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日 ~ 2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	884,170	8.9	81,670	26.4	84,421	26.4	65,161	24.9	59,570	26.6	30,848	60.1
2019年12月期第2四半期	970,829	7.1	110,947	9.7	114,640	9.0	86,737	11.1	81,189	12.9	77,332	99.2

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
2020年12月期第2四半期	48.87	
2019年12月期第2四半期	65.95	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
2020年12月期第2四半期	3,127,889		1,535,183		1,441,503		46.1	
2019年12月期	3,139,318		1,537,214		1,442,837		46.0	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2019年12月期		17.00		19.00	36.00
2020年12月期		17.00			
2020年12月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の配当予想額 : 未定

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日 ~ 2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	
通期	1,780,000	7.3	150,000	25.6	155,000	25.8	110,000	26.2	90.38	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、[添付資料]4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	1,220,576,846 株	2019年12月期	1,220,576,846 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	5,142,876 株	2019年12月期	648,716 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	1,218,840,330 株	2019年12月期2Q	1,230,946,842 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料で記述されている業績予想及び将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当社を取り巻く経済状況・為替レート・農業政策・公共投資及び民間設備投資の動向・自然災害の発生・市場における競争的な価格プレッシャー及び市場に受け入れられる製品を当社が設計・開発し続けていく能力等があります。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(2) 配当予想金額に関して

当社は、安定的な配当の維持及び向上を利益配分に関する基本方針としつつ、具体的な配当金額については、業績動向、財政状態、自社株買付を含む株主還元率等を総合的に勘案して決定することとしています。現時点では期末配当の予定額は未定ですが、決定しだい速やかに開示いたします。

(3) 決算補足説明資料の入手方法

当社は、2020年8月7日(金)に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会(電話会議形式)を開催する予定です。また、当日の説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表等	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 継続企業の前提に関する注記	9
(7) セグメント情報	10
(8) 連結部門別売上高	11
(9) 連結部門別売上高予想	12
4. 2020年4～6月(3ヶ月)の業績概要	13
(1) 要約四半期連結損益計算書	13
(2) セグメント情報	14
(3) 連結部門別売上高	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般の概況)

当第2四半期(2020年1月1日～2020年6月30日)の売上高は前年同期比 867 億円(8.9%)減少して 8,842 億円となりました。

国内売上高は機械、水・環境、その他の全部門で減収となり、前年同期比 199 億円(6.4%)減の 2,902 億円となりました。

海外売上高は水・環境部門が増加しましたが、建設機械、トラクタ、エンジンが大幅に減少したため全体では前年同期比 668 億円(10.1%)減の 5,940 億円となりました。

営業利益は海外での大幅な減収や為替の悪化に加え、2019年第4四半期の大幅な減産に伴い、当期に出荷した製品に含まれる生産工場の損益が悪化したことなどにより前年同期比 293 億円(26.4%)減の 817 億円となりました。税引前利益は営業利益の減少などにより前年同期比 302 億円(26.4%)減少して 844 億円となりました。法人所得税は 206 億円の負担、持分法による投資損益は 13 億円の利益となり、四半期利益は前年同期比 216 億円(24.9%)減の 652 億円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期を 216 億円(26.6%)下回る 596 億円となりました。

(部門別の概況)

部門別の外部顧客への売上高及びセグメント利益の状況は次のとおりです。

① 機械部門

当部門は農業機械及び農業関連商品、エンジン、建設機械により構成されています。

当部門の売上高は前年同期比 10.2%減少して 7,190 億円となり、売上高全体の 81.3%を占めました。

国内売上高は前年同期比 9.1%減の 1,446 億円となりました。消費増税前の駆け込み需要の反動減や、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う販売活動自粛の影響により農業機械や農業関連商品が減少しました。

海外売上高は前年同期比 10.5%減の 5,744 億円となりました。北米では、4月以降の堅調な需要や新機種効果などにより小売は好調に推移しているものの、2018年に発生した台風の影響を受けて一部製品の出荷時期が前々期から前期にずれ込んでいたことの反動や、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた工場の稼働停止に伴う生産や出荷の遅れにより、建設機械やトラクタが減少しました。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた OEM 先の減産やオイル・ガス市況の悪化を受けて、エンジンも大幅に減少しました。欧州では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うディーラーの営業停止や、エンジンの OEM 先の減産などの影響により、建設機械、トラクタ、エンジンともに前年を大きく下回りました。アジアでは、タイのトラクタが昨年から続く水不足の影響や在庫調整により減少しました。一方、中国では、エンジンが経済活動再開後の需要回復を受けて伸長したほか、農業機械も新機種効果などにより増加しました。

当部門のセグメント利益は値上げ効果や原材料価格の低下などの増益要因はありましたが、国内外での大幅な減収や、当期に出荷した製品に含まれる生産工場の損益悪化などにより、前年同期比 25.0%減少して 871 億円となりました。

② 水・環境部門

当部門はパイプインフラ関連製品(ダクタイル鉄管、合成管、官需向けバルブ、素形材、スパイラル

鋼管、空調機器等)、環境関連製品(各種環境プラント、ポンプ、民需向けバルブ等)により構成されています。

当部門の売上高は前年同期比 2.5%減少して 1,503 億円となり、売上高全体の 17.0%を占めました。

国内売上高は前年同期比 3.3%減の 1,309 億円となりました。ダクタイル鉄管などが伸長しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により合成管、空調機器、スパイラル鋼管などが減少したため、パイプインフラ関連製品は微減となりました。環境関連製品は福島県双葉町での廃棄物処理施設の建設に伴う売上などが減少しました。

海外売上高は前年同期比 3.3%増の 194 億円となりました。韓国向けの素形材や中国向けの膜システムの売上が増加しました。

当部門のセグメント利益は国内での減収やプラント建設コストの増加などにより、前年同期比 7.7%減少して 99 億円となりました。

③ その他部門

当部門は各種サービス事業などにより構成されています。

当部門の売上高は前年同期比 6.4%減の 148 億円となり、売上高全体の 1.7%を占めました。

当部門のセグメント利益は前年同期比 5.7%減少して 15 億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、資本の状況

資産合計は前期末(2019年12月末)比 114 億円減少して 3 兆 1,279 億円となりました。資産の部では、小売が好調な北米での販売金融の拡大により金融債権が増加したほか、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う資金需要の増加に備えて資金調達を早めたことなどにより現金及び現金同等物が一時的に増加しました。一方、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた工場の稼働停止に伴う生産や出荷の遅れなどにより、営業債権や棚卸資産が減少しました。また、有価証券を売却したことによりその他の金融資産も減少しました。

負債の部では、社債及び借入金が増加した一方、営業債務が大きく減少しました。資本は、利益の積み上がりはありましたが、為替や株価の変動に伴うその他の資本の構成要素の悪化や自己株式の取得により微減となりました。親会社所有者帰属持分比率は前期末比 0.1 ポイント増加して 46.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは 495 億円の収入となりました。営業債権や棚卸資産の減少により運転資本の変動による支出は減少しましたが、金融債権の増加に伴う支出の増加や、四半期利益の減少などにより前年同期比 14 億円の収入減となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは 304 億円の支出となりました。有価証券の売却による収入の増加や、有形固定資産及び無形資産の取得による支出の減少などにより前年同期比 342 億円の支出減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、362 億円の収入となりました。資金調達の増加などにより前年同期比 297 億円の収入増となりました。

これらのキャッシュ・フローに為替変動の影響を加えた結果、当第 2 四半期末の現金及び現金同等

物残高は期首残高から 510 億円増加して 2,507 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2020 年 12 月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大規模や終息時期が見通せない状況下では合理的な業績予想の算定は困難であることから未定としておりましたが、国内外において経済活動再開の動きが見えてまいりましたので、現時点において入手可能な情報ならびに第 2 四半期の業績動向などを踏まえ、以下のとおりいたします。

当期の売上高は前期比 1,400 億円減の 1 兆 7,800 億円を見込んでいます。新型コロナウイルスの感染拡大は緩やかに収束へ向かうと想定しておりますが、経済活動再開後の需要回復は緩やかとなるほか、部品調達を含めた生産の回復にも時間を要することから、新型コロナウイルスの影響は年間を通じて発生し、1,580 億円程度の減収要因となる見込みです。

営業利益は国内外での大幅な減収に加え、生産量の減少に伴う生産工場の損益悪化や円高の影響などにより、前期比 517 億円減の 1,500 億円となる見込みです。また、税引前利益は前期比 540 億円減の 1,550 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比 391 億円減の 1,100 億円を予想しています。

[業績見通しにおける想定為替レートは、1 米ドル=107 円、1 ユーロ=120 円としています。]

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表等

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

資産の部

(単位 百万円)

科 目	2020年12月期 第2四半期末 (2020.6.30)		2019年12月期末 (2019.12.31)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額
流 動 資 産		%		%	
現金及び現金同等物	250,659		199,665		50,994
営業債権	656,793		682,596		△ 25,803
金融債権	308,291		293,933		14,358
その他の金融資産	87,075		71,968		15,107
棚卸資産	368,737		382,401		△ 13,664
未収法人所得税	4,985		6,287		△ 1,302
その他の流動資産	51,885		82,034		△ 30,149
流動資産合計	1,728,425	55.3	1,718,884	54.8	9,541
非 流 動 資 産					
持分法で会計処理されている投資	34,573		33,729		844
金融債権	721,561		699,238		22,323
その他の金融資産	116,229		148,936		△ 32,707
有形固定資産	392,976		405,349		△ 12,373
のれん及び無形資産	64,795		60,986		3,809
繰延税金資産	45,027		46,984		△ 1,957
その他の非流動資産	24,303		25,212		△ 909
非流動資産合計	1,399,464	44.7	1,420,434	45.2	△ 20,970
資 産 合 計	3,127,889	100.0	3,139,318	100.0	△ 11,429

負債及び資本の部

(単位 百万円)

科 目	2020年12月期 第2四半期末 (2020.6.30)		2019年12月期末 (2019.12.31)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額
流 動 負 債		%		%	
社債及び借入金	364,585		386,538		△ 21,953
営業債権	244,678		293,774		△ 49,096
その他の金融負債	72,910		78,860		△ 5,950
未払法人所得税	22,162		18,611		3,551
引当金	34,445		31,001		3,444
その他の流動負債	196,773		192,959		3,814
流動負債合計	935,553	29.9	1,001,743	31.9	△ 66,190
非 流 動 負 債					
社債及び借入金	592,535		516,443		76,092
その他の金融負債	25,149		30,247		△ 5,098
退職給付に係る負債	15,443		15,773		△ 330
繰延税金負債	19,039		32,984		△ 13,945
その他の非流動負債	4,987		4,914		73
非流動負債合計	657,153	21.0	600,361	19.1	56,792
負 債 合 計	1,592,706	50.9	1,602,104	51.0	△ 9,398
資 本					
資本金	84,130		84,130		—
資本剰余金	84,993		84,671		322
利益剰余金	1,293,047		1,238,824		54,223
その他の資本の構成要素	△ 13,178		35,849		△ 49,027
自己株式	△ 7,489		△ 637		△ 6,852
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,441,503	46.1	1,442,837	46.0	△ 1,334
非支配持分	93,680	3.0	94,377	3.0	△ 697
資本合計	1,535,183	49.1	1,537,214	49.0	△ 2,031
負 債 及 び 資 本 合 計	3,127,889	100.0	3,139,318	100.0	△ 11,429

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	2020年12月期 第2四半期 (2020.1.1~2020.6.30)		2019年12月期 第2四半期 (2019.1.1~2019.6.30)		増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	率
売 上 高	884,170	100.0	970,829	100.0	△ 86,659	△ 8.9
売 上 原 価	△ 634,113		△ 689,649		55,536	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	△ 166,357		△ 166,637		280	
そ の 他 の 収 益	4,356		1,326		3,030	
そ の 他 の 費 用	△ 6,386		△ 4,922		△ 1,464	
営 業 利 益	81,670	9.2	110,947	11.4	△ 29,277	△ 26.4
金 融 収 益	3,914		4,444		△ 530	
金 融 費 用	△ 1,163		△ 751		△ 412	
税 引 前 利 益	84,421	9.5	114,640	11.8	△ 30,219	△ 26.4
法 人 所 得 税	△ 20,598		△ 29,476		8,878	
持 分 法 に よ る 投 資 損 益	1,338		1,573		△ 235	
四 半 期 利 益	65,161	7.4	86,737	8.9	△ 21,576	△ 24.9

四半期利益の帰属

親 会 社 の 所 有 者	59,570	6.7	81,189	8.4	△ 21,619	△ 26.6
非 支 配 持 分	5,591	0.7	5,548	0.5	43	0.8

1株当たり親会社の所有者に帰属する四半期利益

基 本 的	円	銭	円	銭		
希 薄 化 後	48	87	65	95		
	—	—	—	—		

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位 百万円)

科 目	2020年12月期 第2四半期 (2020.1.1～2020.6.30)	2019年12月期 第2四半期 (2019.1.1～2019.6.30)	増減
四半期利益	65,161	86,737	△ 21,576
その他の包括利益－税効果調整後			
純損益に振替えられることのない項目			
確定給付型退職給付制度に係る再測定	113	30	83
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	△ 7,887	5,275	△ 13,162
純損益に振替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の為替換算差額	△ 26,539	△ 14,710	△ 11,829
その他の包括利益－税効果調整後	△ 34,313	△ 9,405	△ 24,908
四半期包括利益	30,848	77,332	△ 46,484

四半期包括利益の帰属

親会社の所有者	28,401	70,513	△ 42,112
非支配持分	2,447	6,819	△ 4,372

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

2020年12月期第2四半期 (2020.1.1~2020.6.30)

(単位 百万円)

区 分	親会社の所有者に帰属する持分					合 計	非支配 持 分	資 本 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2020年1月1日残高	84,130	84,671	1,238,824	35,849	△ 637	1,442,837	94,377	1,537,214
四半期利益			59,570			59,570	5,591	65,161
その他の包括利益－税効果調整後				△ 31,169		△ 31,169	△ 3,144	△ 34,313
四半期包括利益			59,570	△ 31,169		28,401	2,447	30,848
利益剰余金への振替			17,873	△ 17,873		—	—	—
配当金			△ 23,185			△ 23,185	△ 2,721	△ 25,906
自己株式の取得及び処分					△ 7,000	△ 7,000		△ 7,000
譲渡制限付株式報酬		△ 61	△ 35		148	52		52
連結子会社に対する所有者持分の変動		383		15		398	△ 423	△ 25
2020年6月30日残高	84,130	84,993	1,293,047	△ 13,178	△ 7,489	1,441,503	93,680	1,535,183

2019年12月期第2四半期 (2019.1.1~2019.6.30)

(単位 百万円)

区 分	親会社の所有者に帰属する持分					合 計	非支配 持 分	資 本 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2019年1月1日残高	84,130	85,305	1,135,395	35,343	△ 323	1,339,850	86,583	1,426,433
四半期利益			81,189			81,189	5,548	86,737
その他の包括利益－税効果調整後				△ 10,676		△ 10,676	1,271	△ 9,405
四半期包括利益			81,189	△ 10,676		70,513	6,819	77,332
利益剰余金への振替			3,463	△ 3,463		—	—	—
配当金			△ 22,184			△ 22,184	△ 3,938	△ 26,122
自己株式の取得及び処分					△ 7,063	△ 7,063		△ 7,063
譲渡制限付株式報酬		△ 56	△ 19		122	47		47
連結子会社に対する所有者持分の変動		△ 202		△ 449		△ 651	△ 3,617	△ 4,268
2019年6月30日残高	84,130	85,047	1,197,844	20,755	△ 7,264	1,380,512	85,847	1,466,359

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

項 目	2020年12月期 第2四半期 (2020.1.1~2020.6.30)	2019年12月期 第2四半期 (2019.1.1~2019.6.30)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー			
四半期利益	65,161	86,737	
減価償却費及び償却費	33,099	30,581	
金融収益及び金融費用	△ 2,910	△ 3,590	
法人所得税	20,598	29,476	
営業債権の減少(△増加)	10,600	△ 37,635	
金融債権の増加	△ 63,460	△ 34,059	
棚卸資産の減少(△増加)	6,300	△ 29,360	
その他資産の減少(△増加)	37,786	△ 3,315	
営業債務の増加(△減少)	△ 46,317	17,536	
その他負債の増加	11,320	12,778	
その他	△ 1,534	△ 2,361	
利息の受取額	2,058	2,071	
配当金の受取額	1,430	1,917	
利息の支払額	△ 419	△ 563	
法人所得税の純支払額	△ 24,191	△ 19,340	
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,521	50,873	△ 1,352
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産及び無形資産の取得	△ 38,434	△ 51,722	
有価証券の売却及び償還	26,916	5,321	
関連会社に対する貸付金の純減	250	150	
定期預金の純増	△ 25,373	△ 8,513	
短期投資の純増減(△増加)	2,894	△ 7,646	
その他	3,330	△ 2,188	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 30,417	△ 64,598	34,181
財務活動によるキャッシュ・フロー			
社債及び長期借入金による資金調達	204,676	172,621	
社債の償還及び長期借入金の返済	△ 93,171	△ 98,498	
短期借入金の純減	△ 38,197	△ 22,333	
リース負債の返済	△ 7,272	△ 9,733	
現金配当金の支払	△ 23,185	△ 22,184	
自己株式の取得	△ 7,000	△ 7,063	
非支配持分の取得	△ 24	△ 5,652	
その他	366	△ 655	
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,193	6,503	29,690
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	△ 4,303	△ 1,142	△ 3,161
現金及び現金同等物の純増減(△減少)	50,994	△ 8,364	
現金及び現金同等物期首残高	199,665	229,123	
現金及び現金同等物期末残高	250,659	220,759	29,900

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) セグメント情報

①事業別セグメント情報

事業別セグメント情報は次のとおりです。

2020年12月期第2四半期 (2020.1.1～2020.6.30)

(単位 百万円)

	機械	水・環境	その他	調整	連結
売上高					
外部顧客への売上高	718,996	150,326	14,848	—	884,170
セグメント間の内部売上高	137	535	13,240	△ 13,912	—
計	719,133	150,861	28,088	△ 13,912	884,170
セグメント利益	87,149	9,904	1,530	△ 16,913	81,670

2019年12月期第2四半期 (2019.1.1～2019.6.30)

(単位 百万円)

	機械	水・環境	その他	調整	連結
売上高					
外部顧客への売上高	800,822	154,138	15,869	—	970,829
セグメント間の内部売上高	121	537	14,032	△ 14,690	—
計	800,943	154,675	29,901	△ 14,690	970,829
セグメント利益	116,245	10,733	1,623	△ 17,654	110,947

- (注) 1 調整欄にはセグメント間の内部取引に係る消去額及び事業セグメントに配賦していない費用が含まれています。事業セグメントに配賦していない費用は、主に親会社で発生する管理部門の費用、基礎研究費及び為替差損益です。
- 2 セグメント利益の合計額は要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致します。営業利益と税引前利益との間の調整については要約四半期連結損益計算書に記載のとおりです。
- 3 セグメント間取引は独立企業間価格で行っています。
- 4 当期より、社内組織をベースにした事業セグメントの構成の変更に基づき、従来、「機械部門」に含めていた「空調」を「水・環境部門」に含めています。この変更に伴い、前年同期の情報を組替再表示しています。

②地域別情報

仕向地別の外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

(単位 百万円)

	2020年12月期 第2四半期 (2020.1.1～2020.6.30)	2019年12月期 第2四半期 (2019.1.1～2019.6.30)
日本	290,193	310,102
北米	300,361	338,283
欧州	108,788	132,379
アジア(日本除く)	161,160	166,842
その他	23,668	23,223
計	884,170	970,829

- (注) 1 北米に含まれる米国向けの売上高は2020年12月期第2四半期270,045百万円、2019年12月期第2四半期300,073百万円です。
- 2 連結売上高の10%を超える特定顧客への売上高はありません。

(8) 連結部門別売上高

(単位 百万円)

部 門	2020年12月期 第2四半期 (2020.1.1~2020.6.30)		2019年12月期 第2四半期 (2019.1.1~2019.6.30)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
農機・エンジン	583,805	66.0	637,736	65.7	△ 53,931	△ 8.5
国内	129,099		142,604		△ 13,505	△ 9.5
海外	454,706		495,132		△ 40,426	△ 8.2
建設機械	135,191	15.3	163,086	16.8	△ 27,895	△ 17.1
国内	15,501		16,497		△ 996	△ 6.0
海外	119,690		146,589		△ 26,899	△ 18.3
機 械 計	718,996	81.3	800,822	82.5	△ 81,826	△ 10.2
国内	144,600	16.3	159,101	16.4	△ 14,501	△ 9.1
海外	574,396	65.0	641,721	66.1	△ 67,325	△ 10.5
パイプインフラ関連	90,325	10.2	89,930	9.3	395	0.4
国内	75,393		75,647		△ 254	△ 0.3
海外	14,932		14,283		649	4.5
環境関連	60,001	6.8	64,208	6.6	△ 4,207	△ 6.6
国内	55,519		59,698		△ 4,179	△ 7.0
海外	4,482		4,510		△ 28	△ 0.6
水 ・ 環 境 計	150,326	17.0	154,138	15.9	△ 3,812	△ 2.5
国内	130,912	14.8	135,345	13.9	△ 4,433	△ 3.3
海外	19,414	2.2	18,793	2.0	621	3.3
そ の 他	14,848	1.7	15,869	1.6	△ 1,021	△ 6.4
国内	14,681	1.7	15,656	1.6	△ 975	△ 6.2
海外	167	0.0	213	0.0	△ 46	△ 21.6
合 計	884,170	100.0	970,829	100.0	△ 86,659	△ 8.9
国内	290,193	32.8	310,102	31.9	△ 19,909	△ 6.4
海外	593,977	67.2	660,727	68.1	△ 66,750	△ 10.1

(注) 当期より、社内組織をベースにした事業セグメントの構成の変更に基づき、従来、「農機・エンジン」に含めていた「空調」を「パイプインフラ関連」に、「パイプインフラ関連」に含めていた「民需向けバルブ」を「環境関連」に含めています。この変更に伴い、前年同期の情報を組替再表示しています。

(9) 連結部門別売上高予想

(単位 億円)

部 門	2020年12月期 (予想) (2020.1.1～2020.12.31)		2019年12月期 (実績) (2019.1.1～2019.12.31)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
国 内	2,800	%	3,063	%	△ 263	△ 8.6
海 外	11,500		12,520		△ 1,020	△ 8.1
機 械 計	14,300	80.3	15,583	81.1	△ 1,283	△ 8.2
国 内	2,760		2,878		△ 118	△ 4.1
海 外	440		423		17	4.1
水 ・ 環 境 計	3,200	18.0	3,301	17.2	△ 101	△ 3.0
国 内	295		312		△ 17	△ 5.6
海 外	5		4		1	23.5
そ の 他 計	300	1.7	316	1.7	△ 16	△ 5.2
合 計	17,800	100.0	19,200	100.0	△ 1,400	△ 7.3

国 内 計	5,855	32.9	6,254	32.6	△ 399	△ 6.4
海 外 計	11,945	67.1	12,946	67.4	△ 1,001	△ 7.7

(注) 当期より、社内組織をベースにした事業セグメントの構成の変更に基づき、従来、「機械部門」に含めていた「空調」を「水・環境部門」に含めています。この変更に伴い、前期の実績を組替再表示しています。

4. 2020年4～6月(3ヶ月)の業績概要

(1) 要約四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	2020年12月期 第2四半期 (2020.4.1～2020.6.30)		2019年12月期 第2四半期 (2019.4.1～2019.6.30)		増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	率
売 上 高	444,627	100.0	490,117	100.0	△ 45,490	△ 9.3
売 上 原 価	△ 312,295		△ 347,623		35,328	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	△ 78,289		△ 81,523		3,234	
そ の 他 の 収 益	1,173		603		570	
そ の 他 の 費 用	△ 4,004		△ 3,508		△ 496	
営 業 利 益	51,212	11.5	58,066	11.8	△ 6,854	△ 11.8
金 融 収 益	2,719		2,805		△ 86	
金 融 費 用	△ 540		△ 395		△ 145	
税 引 前 利 益	53,391	12.0	60,476	12.3	△ 7,085	△ 11.7
法 人 所 得 税	△ 12,509		△ 15,176		2,667	
持 分 法 に よ る 投 資 損 益	1,051		1,003		48	
四 半 期 利 益	41,933	9.4	46,303	9.4	△ 4,370	△ 9.4

四半期利益の帰属

親 会 社 の 所 有 者	38,814	8.7	43,907	9.0	△ 5,093	△ 11.6
非 支 配 持 分	3,119	0.7	2,396	0.4	723	30.2

1株当たり親会社の所有者に帰属する四半期利益

基 本 的	円	銭	円	銭		
希 薄 化 後	31	87	35	70		
	—	—	—	—		

(2) セグメント情報**①事業別セグメント情報**

事業別セグメント情報は次のとおりです。

2020年12月期第2四半期 (2020.4.1～2020.6.30)

(単位 百万円)

	機械	水・環境	その他	調整	連結
売上高					
外部顧客への売上高	372,098	65,474	7,055	—	444,627
セグメント間の内部売上高	94	264	6,221	△ 6,579	—
計	372,192	65,738	13,276	△ 6,579	444,627
セグメント利益	56,664	1,606	524	△ 7,582	51,212

2019年12月期第2四半期 (2019.4.1～2019.6.30)

(単位 百万円)

	機械	水・環境	その他	調整	連結
売上高					
外部顧客への売上高	414,247	68,137	7,733	—	490,117
セグメント間の内部売上高	30	241	7,154	△ 7,425	—
計	414,277	68,378	14,887	△ 7,425	490,117
セグメント利益	64,786	1,345	548	△ 8,613	58,066

- (注) 1 調整欄にはセグメント間の内部取引に係る消去額及び事業セグメントに配賦していない費用が含まれています。事業セグメントに配賦していない費用は、主に親会社で発生する管理部門の費用、基礎研究費及び為替差損益です。
- 2 セグメント利益の合計額は要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致します。営業利益と税引前利益との間の調整については要約四半期連結損益計算書に記載のとおりです。
- 3 セグメント間取引は独立企業間価格で行っています。
- 4 当期より、社内組織をベースにした事業セグメントの構成の変更に基づき、従来、「機械部門」に含めていた「空調」を「水・環境部門」に含めています。この変更に伴い、前年同期の情報を組替再表示しています。

②地域別情報

仕向地別の外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

(単位 百万円)

	2020年12月期 第2四半期 (2020.4.1～2020.6.30)	2019年12月期 第2四半期 (2019.4.1～2019.6.30)
日 本	140,166	154,155
北 米	151,248	175,602
欧 州	49,291	64,754
ア ジ ア(日本除く)	91,035	84,884
そ の 他	12,887	10,722
計	444,627	490,117

- (注) 1 北米に含まれる米国向けの売上高は2020年12月期第2四半期134,856百万円、2019年12月期第2四半期156,738百万円です。
- 2 連結売上高の10%を超える特定顧客への売上高はありません。

(3) 連結部門別売上高

(単位 百万円)

部 門	2020年12月期 第2四半期 (2020.4.1~2020.6.30)		2019年12月期 第2四半期 (2019.4.1~2019.6.30)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
農機・エンジン	297,957	67.0	330,987	67.5	△ 33,030	△ 10.0
国内	70,854		79,203		△ 8,349	△ 10.5
海外	227,103		251,784		△ 24,681	△ 9.8
建設機械	74,141	16.7	83,260	17.0	△ 9,119	△ 11.0
国内	7,413		7,775		△ 362	△ 4.7
海外	66,728		75,485		△ 8,757	△ 11.6
機 械 計	372,098	83.7	414,247	84.5	△ 42,149	△ 10.2
国内	78,267	17.6	86,978	17.8	△ 8,711	△ 10.0
海外	293,831	66.1	327,269	66.7	△ 33,438	△ 10.2
パイプインフラ関連	41,078	9.2	43,545	8.9	△ 2,467	△ 5.7
国内	33,269		37,099		△ 3,830	△ 10.3
海外	7,809		6,446		1,363	21.1
環境関連	24,396	5.5	24,592	5.0	△ 196	△ 0.8
国内	21,658		22,450		△ 792	△ 3.5
海外	2,738		2,142		596	27.8
水 ・ 環 境 計	65,474	14.7	68,137	13.9	△ 2,663	△ 3.9
国内	54,927	12.3	59,549	12.1	△ 4,622	△ 7.8
海外	10,547	2.4	8,588	1.8	1,959	22.8
そ の 他	7,055	1.6	7,733	1.6	△ 678	△ 8.8
国内	6,972	1.6	7,628	1.6	△ 656	△ 8.6
海外	83	0.0	105	0.0	△ 22	△ 21.0
合 計	444,627	100.0	490,117	100.0	△ 45,490	△ 9.3
国内	140,166	31.5	154,155	31.5	△ 13,989	△ 9.1
海外	304,461	68.5	335,962	68.5	△ 31,501	△ 9.4

(注) 当期より、社内組織をベースにした事業セグメントの構成の変更に基づき、従来、「農機・エンジン」に含めていた「空調」を「パイプインフラ関連」に、「パイプインフラ関連」に含めていた「民需向けバルブ」を「環境関連」に含めています。この変更に伴い、前年同期の情報を組替再表示しています。